



円山川運動公園 基本計画 (概要版)

コンセプト “人”、“人と生きもの”、“人と自然”の“調和”、“共生”、“交流”

円山川運動公園は、一箇所で野球・サッカーのグラウンド4面を確保できる但馬唯一の施設であり、大交流、スポーツ振興を標榜する豊岡市に欠くことのできないものである。

一方、新たな移設地は、近隣にラムサール条約に認定された湿地を有し、悠久の流れを湛える円山川に隣接しており、自然に満ちた景観豊かな田園地域である。

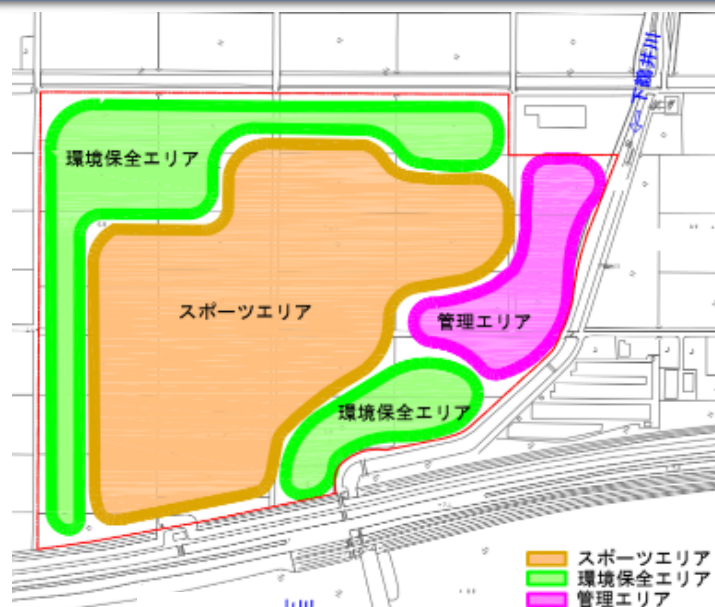
また、当該箇所を含む一帯は、生物環境豊かな地域でもあり、コウノトリ、マガンなどの鳥類に加え、ヒヌマイトトンボなども棲息する多様な生きものを育む条件を兼ね備えた豊饒の地でもある。

これらのことから、豊岡市の念願である治水事業の推進のため、やむなく移設する新たな運動公園については、“人”、“生きもの”、“自然”の“調和”、“共生”、“交流”を促進する「要の施設」として整備を図る。



スポーツエリア スポーツによる大交流と地域の活性化

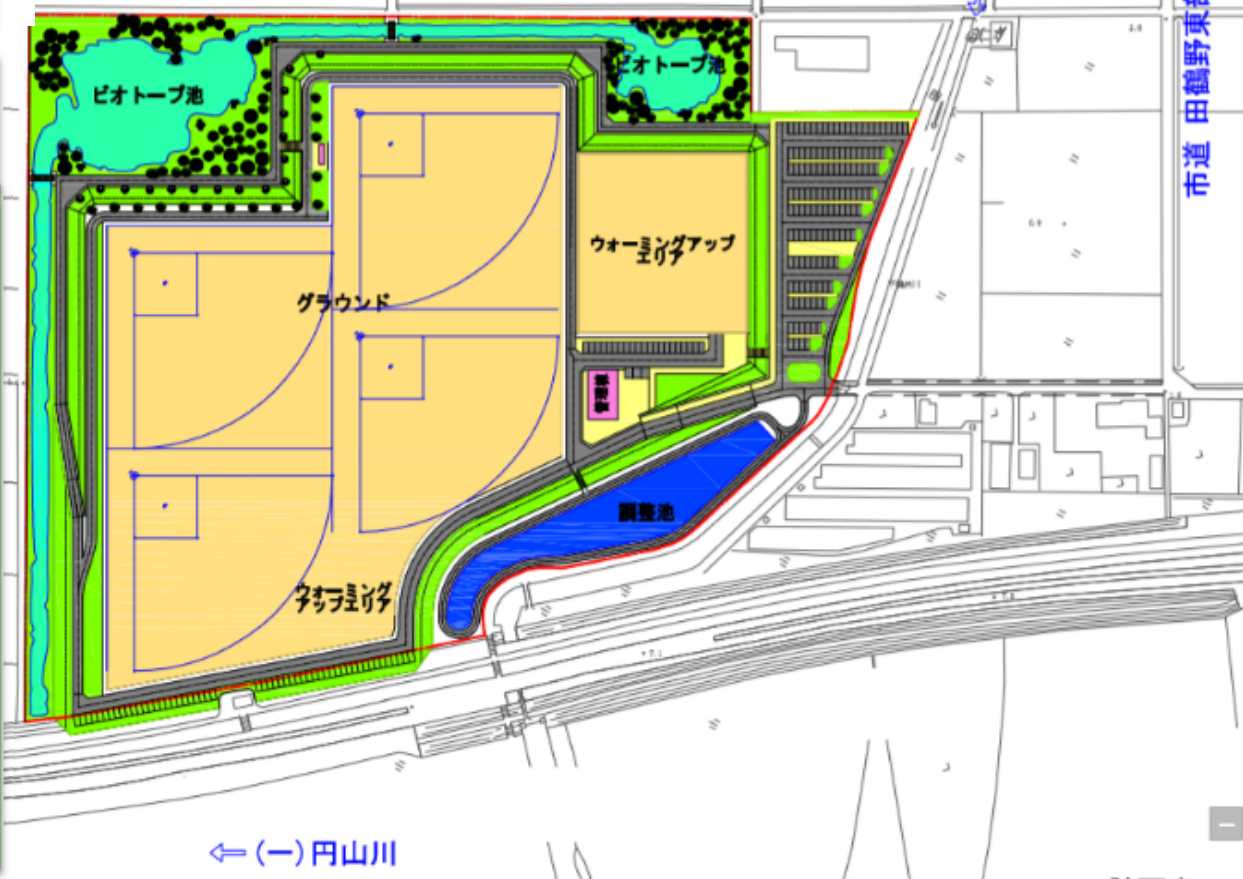
運動公園の整備により、さまざまな競技会による交流の機会を増やしていくとともに、施設規模を生かした大会誘致を可能とした整備を行い、新たな交流の促進を図る。



環境保全エリア 周辺環境を生かした自然とふれあえる憩い空間

計画地はラムサール条約湿地に登録された区域に隣接した自然豊かな水田地帯に位置していることから、周辺の環境との調和や生態系に配慮し、本格的なスポーツのみならず自然の中での時間を楽しめるようにする。

また、環境教育や環境学習の取組など環境を基軸としたまちづくりにつながる各種の取組みを展開する場として活用する。



施設の概要

- 面積：約9ha
 - グラウンド 4.4ha
 - 調整池 0.4ha
 - ビオトープ 1.5ha
 - 法面等 0.7ha
 - 駐車場等 2.0ha
- 内容
 - グラウンド：少年野球×4面
少年サッカー×4面としても使用可能
 - 駐車場：150台
 - 管理棟：1棟
 - その他：ビオトープ池、洪水調整池等
(関係機関との協議を踏まえ、詳細については今後検討予定)
- 概算事業費：約12.9億円
(関係機関との協議を踏まえ、今後精査する予定)
- 整備スケジュール
 - 平成25年度：基本構想策定
 - 平成26年度：詳細設計、土質調査、用地買収等
 - 平成27年度：工事着手(予定)
 - 平成28年度：工事完了(予定)